

東風吹かば

明秀学園日立高等学校 第二学年通信

修了特別号
平成26年度

東風(こち)吹かば にはほおこせよ梅の花
あるじなしとて 春を忘るな
菅原道真

菅原道真の愛した白梅が、主人を慕って一夜にして京都から太宰府に飛んできたという「飛び梅」伝説の句より。

「学年」から「コース」へ

次年度から学校が変わる？ 「教科主導」の教育体制 縦割りの利点を生かせるか

もうご存知かと思いますが、本校は今年度の学年制を見直し、次年度から「コース制」へと移行します。これまでも、本校は(S・T・S・A・B)4つのコースに分かれて一つの学年が構成されてきました。「今と何が違うの?」「学校が変わっちゃうの?」と思っっている人も少なくないはずですが、その疑問にお答えしましょう。

A・見た目は、何も変わりません。変わるの、中身です。つまり、現存するコースを軸に、それぞれのコースに見合った指導方法をより強化し、よりきめ細やかな指導体制をつくらうというのです。これまでの学年制では、学年主任がクラス担任や各教科分掌組織と連携し、学習指導から生徒指導、進路指導を進めてきました。しかし、ここ数年本校に入学する生徒の能力や適性、進路は多様化する一方です。その課題を学年主任が一人で全てを網羅することは困難となり、とりわけ学習指導に関しては十分に対応できない恐れが生じてきました。そこで、これまでの学年主任の役割をコース主任に移行し、教科主導の下、学習指導の強化を図ることになったのです。そうすることにより、コース別の教育目的や目標をより容易く実現できる教育体制をつくれると考えました。

諸君にとっては、特に大きな変化(違和感)は感じることなく、今後もこれまで通りの学校生活を安心して送ってもらえればよいと思います。ただし、学校行事などで、コース別で活動するケースが今まで以上に増えてくると思います。時には、諸君たち自身が最高学年(先輩)として、新1、2年生の面倒やアドバイスを直接的にするような場面も今までより多くなるかもしれません。(部活動を経験している諸君には容易いでしょうが...)これら「縦割りの体系構築の実現は、諸君自身が持つ、協調性やコミュニケーション能力にかかっているのです。」

副委員長会議

「この一年を振り返って...」
昨年年度から引き続き行なわれた定例会議も、全コースで集まるのは今年が最後となり、委員長の目線で今年一年を振り返ってもらいました。

1組委員長 細越 望海
私がこのクラスの委員長になって、2つのことを発見しました。

まず一つ目は、あいさつの声がクラス全体を通して小さかったことです。これは、私が委員長でなかった時は気づかないことでした。いざ、委員長になってみると、自分のクラスの悪いところが、いつもより見えてくるものだと感じました。同様に、それ以上の良いところも発見できたと思っています。

二つ目は、イベント(学校行事等)に対し、積極的に取り組めるクラスであることです。イベントに積極的な姿勢で取り組めるクラスだからこそ、勉強にも同様な気持ちで取り組めるのだと感じました。

あと一年となりましたが、「このクラスでがんばっていきける」と思いました。

2組委員長 松崎 廉
一年に引き続き委員長として感じたことは、自分にとってプラスになったことが多かったということだと思います。委員長としてはクラスに対し何も貢献できませんでしたが、クラスのみならず、皆さんのことを教えられたような気がします。クラスメイトの中には、確かな目標を定め努力している人や、目標は定まっていなくても必死に学習に取り組む人など、クラスの原動力となる人がいます。「受験は団体戦」と言われるように、次の一年は、この2組全員で目標に向かって最後まで駆け抜けたいです。そして、90周年を迎える記念すべき明秀日立に、先輩たちに続く歴史を刻みたいと思います。

3組委員長 酒井 章広
3組をクラス委員長として見てきて、クラスメイト一人一人がかなり個性的だと感じた。全体的にやる気や協調性がない時ばかりだが、本当に大事な時にはクラス全員が一つになって、思いっきり取り組めるクラスです。反面、どこかお互いの関係に壁を感じる時があったり、遅刻・欠席が多かったりと、問題点もたくさんあります。

次年度も変わらぬメンバーで、今までのクラスの良いところはそのまま生かし、悪いところはみんな協力しながら良い方向へ変えていく努力をしたいと思っています。

4組委員長 須之内 美涼
私は一年生の時から2年間まるまる委員長を務めてきましたが、一年生の入学時から比べて、今はとてもまとまりあるクラスになった、と思います。例えば、掃除の時間に積極的に机を運ぶクラスメイトが増えました。また、体育祭では、一年生の時、2位で終わりましたが、二年生では優勝することができました。修学旅行では、他クラスに迷惑をかけることなく、迅速に行動することができたと感じています。授業を見ても、積極的な発言が増えたり、その取り組み全体にも積極性が表れていたように感じました。

次年度はいよいよ受験生となる学年なので、みんなに今以上に力を発揮し、頑張りたいと思います。

5組委員長 鈴木 祥太
年度当初に掲げた学級目標である「声を掛けあつて共に成長しよう」は達成できたと思う。常にクラスの一人一人が互いに声を掛けあい明るいクラスにしようという心がけが良かった。

体育祭や修学旅行など、様々な行事を通して、クラス全体が良い方向へと進むことができた。しかし、もっとより具体的な目標を設定して、5組全員がその目標を共有することで、互いの気持ちを伝えあいながら進路実現に向けて取り組んでいきたいと思っています。

6組委員長 高橋 貴洋
新学期、初めて教室に入った時、6組の雰囲気はとても静かで「緊張感が走るクラス」でした。しかし、月日が流れ、学校行事が行われるにつれ、教室内が徐々に穏やかな空気に包まれました。はじめ、担任の菅田先生の下、私達はこの一年間で多くのことを体験し、学んできました。

まだ記憶に新しい2月の修学旅行では、マレーシアの異文化に触れることにより、これまでになかったことに初めて気づかされることになった。度々先生から注意を受けたり、問題行動が出たりと少々ありましたが、良いところをしっかりと見れば、学校行事や集会時など一つ一つに全力を尽くし、クラス全体で協力し合っ活動ができていたと思います。クラスの仲が良いということは、学校生活において重要なことだと感じました。

7組委員長 遊佐 駿平
自分達のクラスは、クラスメイト全員が良く、とても賑やかなクラスです。しかし、その反面、賑やかなことが仇となり、先生たちにとって「うるさい」と注意されたりすることが多かったような気がします。自分達にとって高校時代で一番大きな行事である修学旅行も、何事もなく無事に成功したと思います。それを通して、クラスの絆がより一層深くなったような気がします。高校生活も残り一年となりました。3年生になれば、受験や就職などで大変な学年となりますが、7組全員がそれぞれの目標を達成できるように、また一年間頑張っていきたいと思っています。

8組委員長 深見 颯太
委員長としてこの一年を振り返ると、新年度初めにクラス替えをして、戸惑いや不安から、クラスメイト同士の仲も良くなりました。日々重ねるにつれ、少しずつですが男女関係なく仲良くなっていたと思います。仲良くなればなるほど、度が過ぎて先生から注意を受けたり、問題行動が出たりと少々ありましたが、良いところをしっかりと見れば、学校行事や集会時など一つ一つに全力を尽くし、クラス全体で協力し合っ活動ができていたと思います。クラスの仲が良いということは、学校生活において重要なことだと感じました。

9組委員長 池元 美沙希
2年9組は、2学期に入ってから少しずつ仲がよくなってきた。(それまではケンカや、上辺だけの関係が多く見られました)体育祭を通して、クラス内の仲間意識が強くなったと思います。一方で、朝学習のはじまりなど取り組みが遅く、学習中でも私語が多くて先生に注意される事がありました。今後も、体育祭などの行事から学んだ仲間意識を良い方向にとらえ、気づいた人が気づかない人に注意するなど、クラス全体が互いに向上できる雰囲気にもっていければいいと考えています。

10組委員長 江本 光
2年生になり、一年が経ちました。1年生の時より、クラスのみんなが仲良くなり、よりクラスメイトのことがわかるようになり、たまに、授業と休み時間の切り替えができず、先生に怒られた時もありましたが、「10組らしい」明るさで、いつも楽しく授業ができていたと思います。

修学旅行では、今まで自分たちの知らない文化に触れたり、たくさん(マレーシアの)人と交流し、いい経験ができたと思います。時間にルーズになって、出発が遅れてしまい、他のクラスに迷惑をかけてしまいました。

3年生になれば、あと一年しか学校生活を送れないので、今までの反省を生かし、「10組らしく」明るく笑顔で全員が卒業できるようにしたいと思います。